過疎地型オンデマンド配車システムを活用した定額制乗り放題タクシーの導入効果

株式会社バイタルリード　森山昌幸・宮下和也　大田市まちづくり定住課　藤原和弘
広島大学　藤原章正　鳥取大学　谷本圭志　島根大学　白井匡人

1 背景と目的

- 日常生活における移動手段の確保
- 運転免許を返納しても幸せに暮らすことのできる環境づくり
- 世帯の自家用車保有台数の削減
- 地域旅客運送サービスの担い手確保と、働く場の提供
- ドライバーの増収・労働環境改善

タクシー事業者
- 収益事業として存続を図り、地域経済と生活サポート全般を牽引
- 若者にとって魅力ある職場環境や待遇への改善

自治体
- 移動手段確保や医療・福祉分野における財政負担額の削減
- 中山間地域における生活機能の確保、定住促進

地域住民（主に高齢者）
- 気軽に外出できる生活環境の実現
- 移動に係る支出の低減
- 健康寿命の延伸、幸福感向上

2 地域の概況（島根県大田市井田地区）

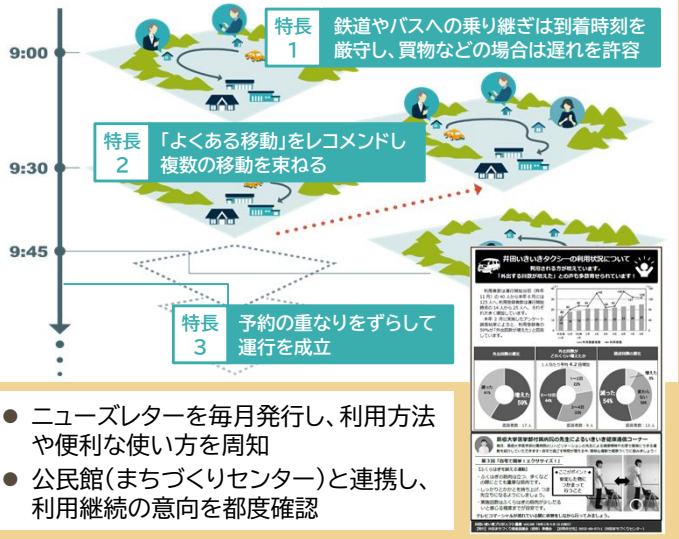
- 市域の南西端に位置
- 人口525人、高齢化率55%（2020/12/1時点）で、市内でも特に人口減少と少子高齢化が進む地区
- 2016年3月からデマンド交通の試験運行を行うも、利用者が伸び悩み半年後に休止

3 実施した取組

地域でクルマをシェアするサービス

過疎地型オンデマンド配車システム TAKUZ 配車

- 最小限の運行リソースによる配車システム
- 利用登録した会員を対象（都度利用可能）
- 定額制（4～5千円/月）の乗り放題サービス

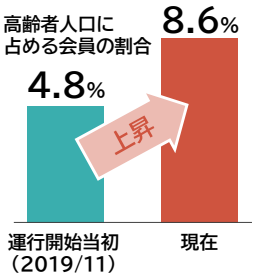


- ニューズレターを毎月発行し、利用方法や便利な使い方を周知
- 公民館（まちづくりセンター）と連携し、利用継続の意向を都度確認

4 TAKUZ 配車 導入の効果

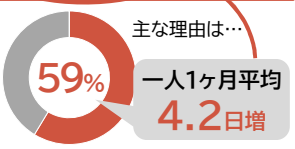
1 定額乗り放題サービスの会員数増加

- 高齢者人口の約10%が会員に
- 高齢者のほか高校生も利用（現在は休止中）
- 2016年のデマンド交通験運行時と比べて、高齢者人口は8%減少しているにもかかわらず、利用者数は約2倍に増加



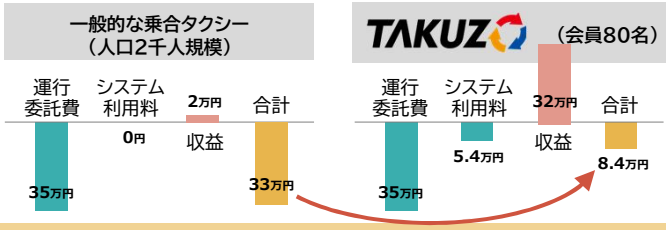
2 住民の外出回数増加

アンケート調査によると、利用登録者の59%が「外出回数が増えた」と回答（平均4.2日/人）



3 市の財政負担の軽減

将来的に運行区域を拡大し利用登録者を増やすことで、地域旅客運送サービス確保に係る市の財政負担軽減に寄与



5 今後の展開

- 自家用有償旅客運送事業など、中山間地域における様々な地域旅客運送サービスへの対応
- タクシー事業を総合的な生活サービス支援業に！（旅客や荷物の輸送＋生活支援サービス）